

NO	受付日	対象箇所				審議会委員の意見・提案	市の考え方	担当課
		計画等	ページ	基本施策	目標指標等			
1	7月11日	総合計画	5	—	時代の潮流 さまざまな社会的要因 【防災・減災】 ○大規模災害への備え	・国や自治体では、東日本大震災を教訓として、国土や地域の強靱化に繋がる取り組みが進んでいます。 ・被害を最小限に抑え、速やかに回復する減災の取り組みが、市民、企業でも盛んになりつつあります。 ⇒ ・国や自治体では、東日本大震災を教訓として、国土や地域の強靱化に繋がる取り組みが進んでいます。また、近年の気候変動による大雨は、河川整備だけで防ぐことは難しく、気候変動による水害リスク増大などに備えるには、自治体、地域住民ら関係者一体となった流域治水・治山事業が必要であります。 ・まちづくりの工夫などで、被害を最小限に抑え、速やかに回復する減災の取り組みが、市民、企業でも盛んになりつつあります。重要であります。(早期に復旧できるよう備えることが重要であります)。	「国や自治体では、東日本大震災を教訓として、国土や地域の強靱化に繋がる取り組みが進んでいます。また、近年の気候変動による大雨は、河川整備だけで防ぐことは難しく、気候変動による水害リスク増大などに備えるには、自治体、地域住民ら関係者一体となった流域治水、治山事業などが必要であります。 ・まちづくりの工夫などで、被害を最小限に抑え、早期に復旧できるよう備えることが重要であります。」に修正します。	危機管理課
2	7月11日	総合計画	7	—	(2)生活を守る課題 ②防災力の強化	家庭や地域、市全体の防災力を高める必要があります ⇒ 家庭や地域、市全体の早期に復旧できる防災力を高める必要があります	「家庭や地域、市全体の早期に復旧できる防災力を高める必要があります。」に修正します。	危機管理課
3	6月23日	総合計画	12	—	土地基本構想	総論は納得します。しかし、p12「人が動く」土地利用構想のイメージ図を強くすべきと期待します。	後期基本計画策定においては、当初の計画を基本的に維持するものとして、土地基本構想については議論の対象外としてきました。 土地利用構想は、今後の市民の暮らしを左右するものとして重要な構想であることから、多くの方から意見をいただく中で、時間をかけて検討していきたいと考えています。	企画課
4	7月11日	総合計画	12	—	土地基本構想 【土地利用の方向】 ゾーン 自然と暮らしの共生ゾーン	○農業・森林空間： 山林・農地の適正な保全を進めるとともに、土地の有効活用を図る。 ⇒ 山林・農地の適正な治山・治水、ならびに土地の有効活用を図る。	「山林・農地の適正な保全を進め、治山・治水対策を行い、土地の有効活用を図る」に修正します。	企画課 農政課 林政課
5	7月11日	総合計画	21	3	現状と課題 ○障がい者への理解	・親がいなくなっても安心して暮らせる場所の確保が課題となっています。 ⇒ 上記文章:「親がいなくなっても」。意味不明です	「親がいなくなっても」を「親なき後でも」に修正します。 (22ページの課題解決のための施策の表現に合わせます。)	社会福祉課
6	7月11日	総合計画	21	3	現状と課題 ○暮らしを支える住宅・インフラ(道路、橋梁、上下水道)の維持・更新	下水道の加入や合併浄化槽の設置により、衛生的な生活環境の向上が求められています ⇒ ……、公衆衛生的な生活環境の向上が求められています (衛生的と公衆衛生的とは意味が異なります)	「衛生的」を「公衆衛生的」に改め、「下水道の加入や合併浄化槽の設置により、公衆衛生的な生活環境の向上が求められています。」に修正します。	上下水道課
7	7月11日	総合計画	21	3	現状と課題 ○ごみ対策・環境対策の実施	一層の減量化が求められています ⇒ 一層の減量化(意味不明です)	「一層の」を削除し、「減量化が求められています。」に修正します。	環境課
8	7月11日	総合計画	22	3	課題解決のための施策 ○ごみ問題や環境に対する対策を推進します	ごみ問題や環境に対する対策を推進します L4 ……ごみ処理の広域化について、調査・研究を進めます ⇒ ……ごみ処理技術の質の効率化広域化について、調査・研究を展開し進めます	「ごみ処理技術の質の効率化について、調査・研究を展開します。」に修正します。	環境課
9	7月11日	総合計画	23	3	目標指標3-2 「障がい者理解推進校の児童・生徒数」	意味不明です。	目標指標を「障がい者理解教育推進校として障がいについての理解促進に取り組む学校の児童・生徒数」に修正します。	社会福祉課
10	7月11日	総合計画	23	3	目標指標3-5 「1世帯1日当たりごみ排出量」	【審議会で指摘済】 ○1世帯1日当たりごみ排出量(基準値744.0g、目標値700.0g) 下1ケタの意味は?(有効数値の取り扱い) 単位:g 使用単位を揃えて表現してください(ゴミはトンで扱っていました)	単位を「kg」に修正します。	環境課

NO	受付日	対象箇所				審議会委員の意見・提案	市の考え方	担当課
		計画等	ページ	基本 施策	目標指標等			
11	7月11日	総合計画	27	5	目標指標5-2 「スクールゾーン内通学路 での安全対策実施率(市 道)」	取扱いの母数が不明です。(n= ??)	スクールゾーン内(小学校を中心とした半径約500メートルの範囲)にある市道の延長38.9kmが母数となります。 目標指標を「スクールゾーン(小学校を中心とした半径約500メートルの範囲)内通学路での安全対策実施率(市道)」に修正します。	建設課
12	7月11日	総合計画	28	6	現状と課題 ○災害対応における共助力	・南海トラフ巨大地震をはじめ、台風による風水害や土砂災害などの発生が懸念されています。 ⇒ 南海トラフ巨大地震をはじめ、台風による風水害や土砂災害などの発生が懸念されています。そして、これまでの災害経験が通用しない時代となっています。近年の気候変動による大雨は、河川整備だけでは防ぐことが難しい状況でもあります。	「南海トラフ巨大地震をはじめ、台風による風水害や土砂災害などの発生が懸念されています。そして、近年の気候変動による大雨は、河川整備だけでは防ぐことが難しい状況でもあり、これまでの災害経験が通用しない時代となっています。」に修正します。	危機管理課
13	7月11日	総合計画	28	6	課題解決のための施策 ○地域、企業、各種団体などのさまざまな力を結集し、災害対応に向けた共助力の向上を図ります	・・・「地区防災計画」を車の両輪として、共助力を高めます。 ⇒ ・・・「地区防災計画」を車の両輪のように、共助力を高めます。	「市における「地域防災計画」と各地域における「地区防災計画」を車の両輪のように、共助力を高めます。」に修正します。	危機管理課
14	7月11日	総合計画	29	6	課題解決のための施策 ○市民に自助の精神の啓発を行うとともに、災害を最小限に食い止める減災を進めます	○市民に自助の精神の啓発を行うとともに、災害を最小限に食い止める最災を進めます ・・・災害に対する備えを万全にするよう支援します。 ⇒ (案)まちづくりの工夫などで、被害を軽減・最小化し、早期に復旧できるよう備えるようにします。 「精神の啓発」： 意味不明 「万全に」： 意味不明	「○まちづくりの工夫などで、被害を最小限に抑え、早期に復旧できるよう備えを進めます 「自分の命は自分で守る」という「自助」の観点から、家庭での災害に対する備えをするよう支援します。」に修正します。	危機管理課
15	7月11日	総合計画	30	7	課題解決のための施策 ○自然環境や農地の保全を推進します	自然環境や農地の保全を推進します ・・・森林や農地が持つ多面的な機能を発揮させる整備を計画的に進めます。 ⇒ ・・・森林や農地が持つ多面的な機能を再認識し治山・治水面で発揮させる整備を計画的に進めます。	「・・・森林や農地が持つ多面的な機能や治山・治水対策の効果を発揮させる整備を計画的に進めます。」に修正します。	農政課 林政課
16	7月11日	総合計画	38、39	12	現状と課題 ○生涯を通して学ぶことができる体制づくり  課題解決のための施策 ○生涯を通して学べる体制づくりを進めます	⇒ 立地する大学： 具体的には 何れの大学を指すのですか？	「市内に立地する大学、高校と」を「市内に立地する学校と」に修正します。	生涯学習課
17	7月11日	総合計画	49	16	現状と課題 ○限られた資源の活用  課題解決のための施策 ○限られた資源の活用を推進します	3R (リデュース、リユース、リサイクル) ⇒ 中ほどに(リデュース、リユース、リサイクル)と記載されているので、ここでは カット	中ほどの(リデュース、リユース、リサイクル)を削除します。	環境課

NO	受付日	対象箇所				審議会委員の意見・提案	市の考え方	担当課
		計画等	ページ	基本 施策	目標指標等			
18	7月11日	総合計画	51、52	18	現状と課題 ○リニア中央新幹線開通に伴う基盤整備と交通環境の改善  課題解決のための施策 ○リニア中央新幹線開通を最大限に活かすための基盤整備・交通環境改善を進めます	……速達性を高める必要があります ⇒ 意味不明	現状と課題 「……また、(仮称)リニア新幹線岐阜県駅から恵那市の市街地や主要な観光地への移動時間の短縮が求められます。」に修正します。  課題解決のための施策 「……また、(仮称)リニア岐阜県駅から恵那市の市街地や主要な観光地への移動時間を短縮するための道路等の基盤整備など交通環境の改善を図ります。」に修正します。	リニアまちづくり課
19	6月23日	総合計画	57	21	目標指標21-2 「大学生がまちづくりに携わった回数(協定締結大学)」	回数で評価するよりも、その中味が重要と思います。 実体験を通して、学生生活の今後に 如何にして活用できるのか。従前に抱いていた、地方の街、今後の地方の街並みは？とかを引き出すヒントが得られるよう誘導すべきです。 たとえば、ベトナムの「ホイアン」「フエ」の街並みも参考になるかと思えます。	地域課題を解決するためにまちづくり活動に取り組むには、大学と地域が連携し、協力を高め関わりを持つことが必要だと考え、大学生がまちづくりに活動に携わった回数を指標としました。 大学生が関係人口として、地域と継続的な繋がりを持ち、地域づくりの担い手の育成・確保に繋げていきたい。	地域振興課
20	7月13日	総合計画	—	—	—	近年は これまでの災害経験が通用しない時代となっている。 そして昨今の気候変動による大雨は、河川整備だけで防ぐことは難しい状況である。 今後は、気候変動による水害リスク増大に備えるには、自治体、地域住民ら関係者による流域治水が必要である。 ここで森林地域の保水内容を改めて見直し、育林の必要性を再認識することである。 阿木川ダム湖、保古の湖や田んぼなどの豊富な貯水機能の活用を再認識し、保守点検を継続させる。 一方、土砂災害などの危険がある地域は開発の規制も考慮する必要がある。 今後、治水施設の能力を超える大雨が増えることへの対応 ⇒ 「街づくりの工夫」などで、被害を最小化し早期に復旧できるよう備えることが重要である。洪水発生を考慮した土地利用の転換など土木工事だけでなく、合わせ技の治水を進めなくてはならない。 ただ、流域治水が被害軽減にどこまで繋がるかは不透明な面もある。 避難態勢の強化などの具体策の検討を進めることが大切である。避難ルートの整備や洪水情報の周知などソフト面の課題もある。 ここでは「避難誘導路の整備」が人命を守る上でも必要・不可欠であると強く述べたい。	ご意見のとおり、河川整備、森林、田畑等の貯水機能、街づくりの工夫、避難ルートの整備、市民への情報周知などソフト面など、様々な対策を総合的に進めなければ、昨今の気象変動による大雨に備えることは難しい状況となっています。  国、県、庁内の関係部課等と連携し、市民の生命の安全を第一に、被害を最小限に抑え、早期に復旧できるよう、各種の事業を推進してまいります。	危機管理課
21	7月11日	総合計画	全体	—	—	AI UIJ ICT DMO Wi-Fi : 要 説明	該当箇所に説明を加えます。	企画課
22	6月23日	指標一覧	2	3	目標指標3-2 「障がい者理解推進校の児童・生徒数」	意味不明です。障がいの児童数が増加するということですか。	No.9の考え方参照	社会福祉課
23	6月23日	指標一覧	2	3	目標値の設定根拠 「個別施設管理計画に基づく維持・補修・更新の実施状況(橋梁)」	○個別施設管理計画に基づく維持・補修・更新の実施状況(橋梁)(基準値2橋、目標値14橋) L5; 位置づけられており、この数値をもって目標値とする。 ⇒ L5; 位置づけられており、この数値をもって目標値とする。	「現段階で、Ⅲ以上の判定を受けている橋梁20橋に対して、個別施設計画(橋梁)を定めて維持・補修・更新を行っているため、当計画と同様の目標値とする。」に修正します。	建設課

NO	受付日	対象箇所				審議会委員の意見・提案	市の考え方	担当課
		計画等	ページ	基本 施策	目標指標等			
24	6月23日	指標一覧	2	3	目標値の設定根拠 「個別施設管理計画に基づき維持・補修・更新の実施状況(橋梁)」	○個別施設管理計画に基づく維持・補修・更新の実施状況(橋梁)(基準値2橋、目標値14橋) L8: 点検結果により見直しをする。 ⇒ L8: 点検結果により見直しをする。計る	「点検結果により見直しを図る」に修正します。	建設課
25	6月23日	正誤表	審議会資料	3	課題解決のための施策	○正誤表 ゴミの「成分分析」と表記されるならば、一般的に聴きうける側の立場は、(微量)有害物質も検出されたのでしょうか? 「PCBとか、有機水銀とか、ダイオキシンとか」、「ppm、ppb オーダー」の話には「成分分析」という文言表記が適格です。 ⇒ しかし、この説明欄のなかでは「成分分析」の文言は誤解を招く懸念がありますので、削除です。  本論:今回は 排出されたゴミの中身を眺めると、「雑がみ」の混入が多くあったこと。その量は重量換算すると約1,500ton、また 総重量あたりの水分量が約6,000tonであった。 (文章が繋がらない) 以上のことから、排出重量の削減、さらに水分割合の2割削減を目指すこととした。  恵那市1日当たりの総ごみ排出量 ; xxxxxkg(〇〇〇 ton) 1世帯1日当たりのごみ排出量 ; △△△ kg 「g」表記は、比較対象の「単位オーダー」せめて同列くらいの単位とすると理解しやすいです。 説明文書の算出根拠が不明です。 計算の根拠;参考文献等を表記すべきです。	・正誤表中、正、【目標値の設定根拠】の文言を以下のとおり訂正します。  ごみの減量化を推進し、ごみ処理コストの軽減を図る。 H30に排出された総ごみ量14,764tonのごみの構成調査、水分調査により、資源である雑がみが約1,500ton、生ごみ中の水分が約6,000ton含まれていた。 以上のことから、雑がみの分別と資源化による排出重量の削減、さらに水分割合の2割削減を目指すこととした。 ・恵那市1日当たりの総ごみ量 40,449kg(40.4ton) ・1世帯1日当たりの総ごみ量 2,039g ・雑がみの分別と資源化により750ton、生ごみの水切り等により1,200ton計1,950tonの削減を目指す。  ・計算根拠として、以下を明記します。「※ごみ収集調書より算出」	環境課